

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円)交付金充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
1	避難所感染症対策事業	感染拡大防止	村内の各避難所にマスク・消毒液・間仕切り・テント・仮設トイレを配布し、緊急避難時の新型コロナウイルス感染予防を図る	R2.6.26～ R3.2.19	8,035,830	8,035,830	村内の避難所にマスク1,700枚・消毒液60個・間仕切り60個・仮設トイレ20個・テント3基を配布した。	新型コロナウイルス感染症拡大期間中に接近した台風により避難指示が発令され避難所に住民が避難する事態もあったがこれらの備えにより感染拡大防止をすることが出来た。	総務課
2	必要物品供給事業	感染拡大防止	布マスクを住民(2枚/名)へ配付し、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図る。	R2.4.10～ R2.4.15	117,318	117,318	布マスクを3,000枚購入し、全住民へ配布した。	新型コロナウイルス感染症の感染予防が図れた。	住民課
3	必要物品供給事業	感染拡大防止	備蓄用の不織布マスクを購入し、新型コロナウイルス感染症の拡大時に備える。また、不織布マスク等を住民へ配付し、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図る。	R2.5.10～ R2.11.30	2,733,368	2,733,000	下記を購入し、全住民へ配布した。 ・マスク 200箱 ・マスク 760世帯分 ・消毒液 760世帯分 ・電子体温計 760世帯分 ・ハンドソープ 760世帯分 ・配布用紙袋 800枚	新型コロナウイルス感染症の感染予防が図れた。	住民課
4	感染症対策事業	感染拡大防止	手指消毒液等を購入し、事業実施の際に、新型コロナウイルス感染症の感染予防を図る。	R2.5.13～ R3.2.26	1,067,732	1,067,732	下記を購入し、事業実施の際に会場設置、住民配布をした。 ・手指消毒液(詰め替え用) 120本 ・消毒液(アルコール濃度75%300ml) 24本 ・消毒液詰替用(アルコール濃度75% 1L) 12本 ・マスク 10箱(50枚入) ・マスク(子供用50枚入) 20箱 ・体温計(非接触式) 2本 ・体温計(非接触式) 1本 ・防護フィルム 3本 ・ビニール手袋 2箱 ・ペーパータオル 2箱円 ・ファイル等事務用品 ・メタルラック 3個 ・飛沫防止パネル(大) 4台 ・飛沫防止パネル(小) 22台 ・ステンレス製ディスペンサー 2個 ・ノータッチ薬液ディスペンサー 5個 ・アクリル仕切りボード 5個 ・体温測定カメラシステム 1台	新型コロナウイルス感染症の感染予防が図れた。	住民課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
5	(国民健康保険診療所等別会計操出)地域の感染状況を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	感染拡大防止	診療所内での新型コロナウイルス感染の感染拡大防止のため、感染症対策用ガウンセット等を購入し、医療体制を整える。	R2.7.2～ R3.3.2	626,135	626,135	下記を購入し、診療所内での感染防止対策を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染症対策用ガウンセット 45袋</li> <li>・フェイスマスク 50箱</li> <li>・非接触式体温計 3本</li> <li>・使い捨て舌圧子 2箱</li> <li>・個包装アルコール綿 5箱</li> <li>・次亜塩素酸クロス(パウダー) 30袋</li> <li>・次亜塩素酸クロス(詰替入り専用容器 100枚) 1個</li> <li>・次亜塩素酸クロス(詰替用 100枚) 6個</li> <li>・次亜塩素酸クロス(スプレーボトル 500ml用) 1個</li> <li>・手指消毒液 20本</li> <li>・手袋 100箱</li> <li>・飛沫感染防止パネル 4個</li> <li>・簡易サーマルカメラ 1台</li> </ul>	診療所内での新型コロナウイルス感染の感染拡大防止し、医療体制を整えることができた。	住民課
6	必要物品供給事業	感染拡大防止	集い事業等での新型コロナウイルス感染の感染拡大防止のため、不織布マスク等を社会福祉協議会へ配付し、予防体制を整える。	R2.7.30～ R3.2.9	283,162	283,000	下記を購入し、社会福祉協議会へ配布し、あったかふれあいセンター等で活用した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・マスク 50箱</li> <li>・非接触型体温計 14本</li> <li>・ペーパータオル 2箱</li> <li>・手指消毒液 30本</li> <li>・手指消毒液 30本</li> <li>・ハンドソープ 15個</li> <li>・ハンドソープ 2本</li> <li>・手袋 20箱</li> <li>・食品添加物エタノール除菌剤 42個</li> <li>・遮光ミストボトル 24個</li> </ul>	集い事業等での新型コロナウイルス感染の感染予防が図れた。	住民課
7	(国民健康保険診療所等別会計操出金)郵送健診事業	行政サービス	新型コロナウイルス感染症の影響で健診会場等で健診を受けることができなかった住民へ健診機会を提供する。	R2.11.26～ R3.3.31	2,032,800	2,032,800	国民健康保険加入者264名へ郵送健診(検査キット及び健診結果の郵送等)を実施した。	新型コロナウイルス感染症の中、自宅での健診機会を提供することができた。	住民課
8	高知県休業等要請協力金負担金	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	高知県実施の休業等要請に応じた県内中小企業又は個人事業主の事業継続支援に対する負担金 1事業者10万円	R2.6.25～ R2.9.10	800,000	800,000	高知県実施の休業等要請への協力事業者に対する協力金の市町村負担金(県20万、市町村10万) 8事業所10万円×8事業者=80万円	県制度に加え、中小企業又は個人事業主に対する負担金を支援したことで事業所の事業継続につながった。	地域振興課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
9	緊急支援補助金	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	村内事業者が新型コロナウイルスへの対応として行う設備導入や事業継続・売上向上につながる取組に必要な経費を支給 1事業者30万円	R2.8.20～ R3.9.3	5,981,000	5,981,000	新型コロナウイルス感染症のため店舗棟の換気等感染症拡大防止のための経費を30万円を上限とし補助 30万円×20事業者＝600万円	新型コロナウイルスの影響により売り上げが減少する中、感染症対策に対する経費を補助することで事業者の負担も減り、従業員や利用者の安心感も得ることができた。	地域振興課
10	地域のビジネス支援事業	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためのステージを十分踏まえながら、地域のために欠かせない役割を担っている村内事業者を支援する。 20万円×2業者＝40万円	R2.8.6～ R2.9.10	400,000	400,000	感染症拡大防止のためステージを十分踏まえながら、地域のために欠かせない役割を担っている村内事業者を支援したものの。 奨励金20万円×2業者＝40万円	地域のために欠かせない役割を担っている村内事業者を支援することで、村民が生活するに困らないよう、事業者が新型コロナウイルス感染症の拡大防止のためのステージを十分踏まえながら開業に努めることができた。	地域振興課
11	地域の魅力発信事業	6.新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進	自治体が村内の食資源や観光資源等地域の魅力をPRする。	R2.8.27～ R3.3.3	3,300,000	3,300,000	三原村PR用ポスター及びホームページテキスト製作委託業務 3,300,000円	三原村の食や観光の魅力を幅広く発信ができ、今後の集客にもつながることができた。	地域振興課
12	三原バス利用促進事業	3.事業継続等(事業者等への支援)	安心して三原バスを利用してもらう為に感染症対策の実施。また、コロナ収束後により利用しやすい三原バスとする為に時刻表看板の設置や待合所にエアコンを設置する。	R2.7.7～ R3.3.30	1,576,434	1,515,209	感染症対策として所有するバス4台の運転席と客席の間に仕切りボードを設置。また乗客の為に手指消毒液やマスクを購入し、感染症対策に努めた。また、待合所の改装や、エアコンの設置等でより快適に三原バスを利用できるように努め、さらに初めて三原バスを利用する者が分かりやすいように村内4箇所に時刻表看板を設置した。  感染症対策消耗品:228,714円 仕切りボード設置:562,100円 時刻表看板設置:481,800円 待合所修繕:71,720円 エアコン設置:94,600円 オゾン発生器:137,500円	感染症対策を実施した事で、三原バスでは運休等の措置を取らずに運行を続けることが可能となりました。さらに、エアコンの設置により夏場や冬場でも快適に三原バスを利用できる環境を整備しました。また、初めて三原バスを利用する方々の為に、バス停位置を示す時刻表看板を設置し、利便性の向上を図ることができた。	地域振興課
13	公共施設の管理体制持続化事業	Ⅱ-3. 事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	三原村移住促共同住宅指定管理者へ奨励金を支給し住宅の維持を行うもの 奨励金30万円	R2.8.6～ R2.8.20	300,000	300,000	感染症拡大防止のため積極的な受け入れを自粛しつつも、施設に対して感染症拡大防止対策に配慮したうえでの運営を支援したものの 奨励金30万円	共同促進住宅の利用者が安心して施設を利用できるよう感染防止対策に気を付け入居者への配慮に怠ることなく住宅の維持に努めてくれた。	地域振興課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
14	公共的空間安全対策事業	感染拡大防止	自治体の業務を行ううえで感染拡大抑止のためのテレワークの際に必要な資材を整備する。	R2.11.27～ R2.12.10	1,033,890	1,033,890	リモートワーク用のカメラ8台、スピーカー8台 ノートパソコン8台、マウス8個整備	感染拡大前に国及び高知県が開催していた各事業の担当者及び講演会がコロナ禍のためにリモートワークに変更されたことに対応できた。	総務課
15	公共施設空間安全対策事業	感染症対策(感染症防止)	公共施設利用者等を高感度サーモグラフィカメラを活用し、異常発熱者のスクリーニングすることで感染防止対策を図る。	R2.7.30～ R2.8.25	825,000	825,000	公共施設利用者等を高感度サーモグラフィカメラを活用し、異常発熱者のスクリーニングすることで感染防止対策を図った。	公共施設に高感度サーモグラフィカメラを導入することにより、感染機会の削減に繋がった。	農林業建設課
16	地域の感染状況等を踏まえたきめ細かい医療提供体制等構築事業	感染症対策(感染症防止)	消防職員による感染症患者等の救急搬送に伴う感染防止対策及び感染拡大予防に必要な資機材を整備する。	R2.8.5～ R2.12.24	783,541	783,541	サージカルマスク80箱、ニトリル手袋、レインカバー10袋、ヒビスコール液7本、マックスガード50セット、ジャンボクリーン1個、N95マスク8箱を購入	救急搬送の際に消防職員への感染や、搬送者への感染防止につながった。	消防
17	学校施設等感染予防対策事業	感染症対策	小学校・中学校・中央公民館・給食センターの感染拡大防止のための対策	R2.6.29～ R2.9.24	1,215,745	1,210,000	体温測定カメラシステムや飛沫防止透明パーテーション等の購入	学校施設へ体温測定カメラシステムの設置や給食センターに飛沫防止パーテーションを設置することで、感染機会の削減につながった。	教育委員会
18	テレワーク導入事業	感染症対策	感染症拡大防止対策の為、Web会議等のリモートワークを推進する為。	R2.8.21～ R2.10.29	70,488	70,488	Webカメラ、スピーカー購入	オンライン会議に切り替えることで、対面を避け感染機会の削減につながった。	教育委員会
19	GIGAスクール支援事業	感染症対策	GIGAスクール構想の実現に向け、国庫補助対象外である教職員分のタブレット整備	R2.7.27～ R3.1.8	436,370	436,370	教職員分タブレット整備 10台	学校の臨時休業等の緊急時対策として学びを保障できる環境を整備出来た。	教育委員会
20	修学旅行キャンセル手数料	1.感染症対応等(感染拡大の防止)	緊急事態宣言による自粛要請がでた際に修学旅行を中止した場合、出発日までの日数によりキャンセル料が発生することが見込まれる。事業を継続するためキャンセル料について保護者の負担なく支払う為。	R2.8.4～ R2.9.30	32,544	32,544	修学旅行(九州方面)キャンセル料補償、補填及び賠償金:32,544円	国内旅行として計画した中学生の研修事業について、感染症の状況に応じて柔軟に対応するために参加者に負担のない手数料を準備することが非常に役立った。	教育委員会
21	図書館パワーアップ事業	1.感染症対応等(感染拡大の防止)	中央公民館図書室事業の実施において、職員と利用者の接触の機会を低減するため、図書管理ソフトを導入することで、職員のみが立ち入るスペースで作業可能な事務を増やす。	R2.7.16～ R2.8.4	236,500	236,500	図書管理ソフト、レーザーリーダーの導入 備品購入費:236,500円	村中央公民館図書室に補助金を用いて事務環境を整えた。本整備により職員が仕切りを施した空間から出ることなく来客の対応が出来る事務の幅が広がり、感染症流行下にあっても部分的な閉館を行うために寄与した。	教育委員会
22	クーポン券付き宿泊プラン事業負担金	3.事業継続等(事業者等への支援)	幡多エリアの観光施設や、商業施設の利用促進を行い地域経済の活性化を図る	令和2年7月～令和3年3月	715,000	715,000	クーポン券付き宿泊プラン事業負担金 村負担分(幡多広域観光協議会) ※伝票1401000円内761,000円 ※実績戻入後761,000円-46,000円=715,000円	コロナ禍で滞っていた地域経済の活性化を図ることができた。地域の盛り上がりにもつながることができた。	地域振興課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
23									
24	新型コロナウイルス感染症対応土佐くろしお鉄道運行補助金	3.事業継続等(事業者等への支援)	新型コロナ感染防止対策により全国的な自粛が行われるなか、経済圏である幡多地域において唯一の鉄道事業者が大幅な利用者減少による経営難となっている。この窮地を乗り越えコロナ収束後の安定的な運営を支えるため奨励金等により支援を行う。	R3.1.12 ~ R3.3.9	859,973	859,973	新型コロナウイルス感染症の影響により、運輸収入が減少していた鉄道事業者に対し、鉄道運行の安全確保に必要な資金の支援を行った。  全体事業費:88,959,873円 補助率:県1/2、沿線市町村1/2(うち三原村0.9667%)  三原村補助金実績額:859,973円 内 線路保存事業:363,218円 電炉保存事業:31,557円 車両保存事業:438,583円 運輸・一般事業:26,615円	新型コロナウイルス感染症の影響による移動制限等に伴い、利用者が減少し運輸収入が減少した鉄道事業者に対し、車両や線路等の修繕費用を支援することで、安全安心な運行を維持することができた。	地域振興課
25	地域の魅力の磨き上げ事業		新型コロナウイルスの影響を受けた村内事業者の支援につなげるためコロナ収束後の来村者の回復、さらなる増加を目指し、さまざまな視点から魅力ある観光資源の発信を行うのに必要な資機材の整備。	R2.10.12 ~ R3.2.9	949,080	949,080	観光資源発信の為に資機材の購入。及び資機材を操作する為の講習会の実施。  備品費用:619,080円 講習会費用:330,000円	撮影した観光資源を村HPにてPRに活用することができた。また、移住検討者に村のPRをする為の素材を準備することができた。	地域振興課
26	公共施設等の管理維持体制持続化事業	4.社会的な環境の整備	新型コロナ感染症により影響を受けた移住促進住宅・キャンプ場他公共施設の環境整備を実施する。	R3.1.13~ R3.3.26	3,896,970	3,896,970	居住促進共同住宅wi-fi整備工事費230,670円 移住促進共同住宅ソファ購入費198,000円 キャンプ場トイレ改修費792,000円 星ヶ丘公園外灯整備874,500円 交流施設ピクチャーレール設置147,400円 公園転落防止柵設置等整備工事896,500円 視トイレ改修757,900円	星ヶ丘公園のみならず、要望の多かったキャンプ場のトイレ改修は今後の集客に向けていい利便性の向上につながった。	地域振興課
27	ふるさとあったか便事業	6.新たな付加価値を生み出す消費・投資の促進	コロナ渦の中で、村外で頑張る学生と新社会人に特産品を送る。	R2.9.30~ R3.2.22	815,904	815,904	対象者に特産品を期間内に2回発送する(一人につき1万円分)程度	ふるさとの良さを再認識してもらえるとともに、帰属意識を持つことにつながった。	地域振興課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
28	村内事業所感染予防対策	I-1. マスク・消毒液等の確保	新型コロナウイルス感染症対策の為、村の100事業所に対し、感染予防対策として、マスク、消毒液、ハンドソープを配布。	R2.10.27 ～ R2.11.20	568,777	568,777	新型コロナウイルス感染症対策の為、村の100事業所に対し、感染予防対策として、マスク、消毒液、ハンドソープを配布 ハンドソープ 169,320円(408個×415円) 不織布マスク 132,750円(450箱×295円) 消毒液 215,000円(250本×860円) 消費税 51,707円 合計 568,777円	新型コロナウイルス感染症対策の為、各事業者に人数によって振り分けたマスク、消毒液、ハンドソープを配布した。これにより、コロナの影響により売り上げが落ちていた事業者への負担を減らし、入手困難なマスク等の配布ができたことで従業員や利用者への安心感につながった。	地域振興課
29	地域振興券事業	Ⅲ-2. 地域経済の活性化	対象者1,500人に対して新型コロナウイルス感染症により影響を受けた村経済を立て直すために、地域振興券を発行して、地産地消を進める。	R2.9.28～ R3.3.11	18,729,275	18,544,000	対象者1,494人に対して新型コロナウイルス感染症により影響を受けた村経済を立て直すために、地域振興券を発行して、地産地消を進めた。 印刷製本費(1,500セット 334,730円 ) 役務費(1,500人×452円(簡易書留))=677,952円 委託費17,716,593円	換金率(約98%)からみても多くの人に利用していただき、村民が村内店舗で使用することで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた村内事業者の事業継続にも寄与した。	地域振興課
30	地域の基礎的活力養成事業	4.社会的な環境の整備	新型コロナウイルス感染症収束後に備え、観光客の誘客を進めるため、観光地周辺に多言語看板の設置。	R3.3.9～ R3.3.23	330,000	330,000	ヒメノボタンの里公園駐車場/公園登り口案内看板製作設置業務 委託料:330,000円	以前から観光地の場所が分かりづらいとの指摘があったが、改善することで集客につながった。	地域振興課
31	社会福祉施設等の衛生用品購入	感染拡大防止	社会福祉施設等への衛生用品の配布及び緊急時用の備蓄の確保。	R2.10.15 ～R3.1.25	612,264	612,000	下記を購入し、社会福祉施設等(特老星ヶ丘、ほうばい、わらわら、社会福祉協議会)への衛生用品の配布及び緊急時用の備蓄の確保を行った。 ・マスク(1箱50枚) 288箱 ・消毒液(1本50) 20本 ・プラスチック手袋(M:1箱200枚) 90箱 ・プラスチック手袋(L:1箱100枚) 50箱 ・散布除菌液 12箱	社会福祉施設等での新型コロナウイルス感染の感染予防が図れた。	住民課
32	出産応援臨時給付金	財政支援	特別定額給付金の基準日以降に出生予定の児1人につき10万円を給付し、新型コロナウイルス感染症への不安をかかえる妊婦等が、安心して出産又は育児が行えるよう支援する。	R2.10.19 ～ R3.2.10	800,000	800,000	特別定額給付金の基準日以降に出生した8名の保護者へ10万円を給付した。	新型コロナウイルス感染症への不安をかかえる妊婦等が、安心して出産又は育児が行えるよう支援することができた。	住民課

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
33	季節性インフルエンザ 予防接種促進事業	感染拡大防止	型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの症状が酷似しているため、同時期に流行した場合、発症者の見分けがつかず、医療現場が混乱することが懸念される。そのような現状を最小限に抑えるためには、インフルエンザワクチンの接種者を増加させ、発症リスクを軽減させる必要がある。そのため全住民を対象に、インフルエンザの予防接種料の個人負担分を全額助成し、インフルエンザの感染予防及び重症化のリスクを回避するとともに、医療現場の混乱を防ぐ。	R2.10.5～ R3.2.10	1,132,301	1,132,301	インフルエンザ予防接種料の助成を288名へ行った。	インフルエンザの予防接種料の個人負担分を全額助成し、インフルエンザの感染予防及び重症化のリスクを回避するとともに、医療現場の混乱を防ぐことができた。	住民課
34	社会システム維持のための衛生確保事業	感染拡大防止	外出自粛や在宅ワーク等により、自宅で過ごすことが多くなり、ゴミの量が増え、ゴミ収納ボックスからゴミがあふれているステーションがある。今後この状況が続くことを考えると、今以上にゴミの量が多くなることが懸念される。そのためゴミステーションにステンレス製収納庫を増設し、鳥獣などによるゴミの散乱を防ぐことで、住民が安心してゴミを出すことができ、収集業者の感染拡大防止を図る。	R2.10.16～ R2.12.4	733,810	733,000	下記を購入し、村内の収納ボックス設置場所へ追加で設置した。 ・収納ボックス 大 7個 ・収納ボックス 小 3個	収納ボックスを増設し、鳥獣などによるゴミの散乱を防ぐことで、住民が安心してゴミを出すことができ、収集業者の感染拡大防止を図ることができた。	住民課
35	(国民健康保険診療所 特別会計繰出) 診療所 感染対策事業	感染拡大防止	診療所での新型コロナウイルスの院内感染を防止するため、院外での発熱者等の診療を行うための機器を購入する。	R2.10.26～ R2.11.26	1,488,080	1,488,000	下記を購入し、院外診療を行った。 ・メンブリーシェルター 1式 ・発電機 1台 ・投光器 1台 ・ランタン 10台 ・リヤカー 1台	診療所での新型コロナウイルスの院内感染を防止することができた。	住民課
36	(国民健康保険診療所 特別会計繰出) 診療所 感染対策事業	感染拡大防止	振動病患者が密を防止して治療できる体制を整えるため、治療器を購入する。	R2.10.21～ R2.11.10	990,000	990,000	下記を購入し、振動病患者の治療を行った。 ・吸引・干渉電流型低周波治療器 1基	診療所で振動病患者が密を防止して治療でき、新型コロナウイルスの院内感染を防止することができた。	住民課
37									
38	リモートワーク導入事業	感染症対策	自治体業務を行う上で感染拡大抑制のため、WEB会議・研修等のリモートワークの際に必要なパソコンの購入	R2.12.2～ R3.1.8	224,400	224,400	ノートパソコンの購入 2台	オンライン会議に切り替えることで、対面を避け感染機会の削減につながった。	教育委員会

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円) 交付金 充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
39	学校施設等感染予防対策事業	感染症対策	小学校・中学校・中央公民館・給食センターの感染拡大防止のための対策。	R2.11.13 ～R3.3.31	251,500	240,000	フェイスシールド、除菌シート、弁当箱等の購入	授業での飛沫防止対策や、給食を弁当化することで食べる場所の人数を制限し感染対策につながった。	教育委員会
40	学校施設等感染予防対策事業費	1.感染症対応等(感染拡大の防止)	地域の教育施設として活用している中央公民館の衛生環境を整備するため、利用者や備品の消毒を行うための物品を購入する。	R3.2.1～ R3.3.4	60,324	60,324	村中央公民館の感染症対策消耗品購入 需用費:60,324円	社会教育活動の拠点として、感染症流行の様子を見ながら公民館教室の実施を行った。利用者同士や備品との接触の機会において感染拡大が起こらないように消毒を徹底するために本事業費を用い、クラスターの発生を抑制することができた。	教育委員会
41									
42	公共施設等の管理維持体制持続化事業	感染症対策(感染症防止)	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の衛生環境整備のためシャワー室の改修及び手洗器の自動水栓への取り換えを行うとともに停電時の衛生機器稼働のため発電機を整備する。	R3.1.19～ R3.3.22	1,122,000	1,122,000	公共施設のシャワー室改修及び手洗器の自動水栓化、停電時の衛生機器可動の為に発電機の整備を行った。	公共施設への衛生環境整備を行う事で、住民の感染拡大防止に繋がることが出来た。	農林業建設課
43									
44	高知県ゆず振興対策協議会負担金	経済対策・その他(財政支援)	アンテナショップや量販店でのフェア等で、高知県の特産品や食文化の発信としてユズ果汁スティックやパンフレット等を配布。また、展示商談会への参加及びりー元商談会を行い、ユズ果汁の販売拡大を図るための費用を負担。	R2.12.22 ～R3.1.29	172,000	172,000	高知県ゆず振興対策協議会が行ったユズ需要拡大緊急対策事業の負担金。	高知県産ゆず果汁の販路拡大を目的としたフェアやイベント等で使用するユズ果汁スティック(約100,000個)の配布、パンフレット等の作成・配布。また、青果ユズの認知向上・販売促進のための無料配布・飲食店関係者や市場関係者への提供を通じて需要拡大を図った。	農林業建設課
45	Wi-Fi環境整備事業	感染拡大防止	接触感染拡大を防止するために、リモートワークの推進等を行い、WEB会議及びWi-Fi環境の整備を行う。	R3.1.19～ R3.3.25	335,280	335,280	役場庁舎の2箇所にWi-Fiルーターを設置・設定を行う。	感染拡大前に国及び高知県が開催していた各事業の担当者会及び講演会がコロナ禍のためにリモートワークに変更されたことに対応できた。	総務課
46	公共的空間安全・安心確保事業	感染拡大防止	保健センターのトイレの和式便器を洋式便器等に改修し、接触感染症拡大防止対策を図る。	R3.1.21～ R3.3.17	3,992,732	3,992,732	下記のとおりトイレ改修工事を行った。 ・男子トイレ 和式便器2台 →洋式便器2台、小便器3台に自動洗浄 ・女子トイレ 和式便器1台 →洋式便器1台	保健センタートイレでの接触感染症拡大防止対策を図ることができた。	住民課



新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業 効果検証一覧(令和2年度)

※令和2年度から3年度への繰り越事業を含む

事業No.	事業名	事業分類	事業の概要	実施期間	実績額	(円)交付金充当額	事業実施内容	事業の効果	担当課
47	(国民健康保険診療所特別会計繰出)公共的空間安全・安心確保事業	感染拡大防止	診療所のトイレの和式便器を洋式便器等に改修し、接触感染症拡大防止対策を図る。また、新型コロナ、インフルエンザや流行性ウイルス等の除菌のための、小型オゾン除菌・消臭機を購入し、診療室等の除菌対策を図る。	R3.1.21~ R3.3.17	3,549,968	3,549,968	下記のとおりトイレ改修、小型オゾン除菌・消臭器を購入し、診療室等へ設置した。  ・診療所トイレ 和式便器2台→洋式便器2台、小便器3台に自動洗浄 ・職員用トイレ 和式便器1台→洋式便器1台 ・小型オゾン除菌・消臭機 3台	診療所トイレでの触感染症拡大防止対策、診療室津の除菌対策を行うことができた。	住民課
48	三原村新型コロナウイルス感染症対策特別給付金	財政支援	新型コロナウイルス感染症の発生及びまん延の状況が、マスクの着用、手指消毒、三密の回避や不要不急の外出の自粛等、村民の生活に多大な影響を及ぼし、村民に精神的苦痛を与えていることに鑑み、全ての村民の家庭での感染症対策を支援することにより、村民に一丸となって感染拡大防止に取り組んでもらうため、一人当たり2万円を支給する	R2.12.23 ~R3.2.16	29,604,986	29,604,986	村民の家庭での感染症対策を支援するため、1,475名へ2万円を給付した。  ※対象者は、令和2年12月22日時点で三原村に住民票がある者 ※支給日までに転出したものは対象、支給日までに死亡した者かつ単独世帯だったの者には支給しない。	全ての村民の家庭での感染症対策を支援することにより、村民に一丸となって感染拡大防止を図ることができた。	住民課
49	体育館空調設備整備事業	感染症対策	コロナ対策として第4波、第5波に備えて、今後学校が休校になった場合に授業日数の確保の為夏季開校・冬季開校に備えて3密対策をして体育館の機能の充実を図る為に、体育館にエアコンを整備する。	R3.2.15~ R3.8.3	26,950,000	26,950,000	空調設備整備設計・管理委託業務(2校) 空調設備整備工事(2校)	感染症対策として教育の場の環境整備ができ、児童生徒の学びの保障につながった。	教育委員会
50	緊急事業者支援給付金	II-3.事業継続に困っている中小・小規模事業者等への支援	村内の新型コロナ感染拡大に伴い、三密の回避等の感染症拡大防止策に対し協力してくれた全業者に対し、住民が一丸となってコロナ対策に取り組んでもらうことを目的に協力を給付する。	R2.12.25 ~R3.3.10	4,629,948	4,629,948	村内の新型コロナ感染拡大に伴い、三密の回避等の感染症拡大防止策に対し協力してくれた全業者に対し、住民が一丸となってコロナ対策に取り組んでもらうことを目的に協力を給付した。 給付額5万円×92=4,600,000円 切手代 29,948円 合計 4,629,948円	「新しい生活様式」を実施する等新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで営業を行うための協力を交付することで、感染症対策や販促・新サービスの提供を行うことで危機的状況の克服及び事業継続につなげることができた。	地域振興課